

第6回 日本建築学会近畿支部建築史部会研究会

# 近世中・後期寺院建築調査の最新成果

発表

鈴木智大 (奈良文化財研究所)

「建地割板図にみる近世後期の岡寺本堂再建」

登谷伸宏 (京都工芸繊維大学)

「近江国における大規模浄土真宗本堂について」

コメント

黒田龍二 (神戸大学)

司会

青柳憲昌 (立命館大学)

日本建築学会近畿支部建築史部会では、歴史的建造物が集中し、重層する近畿の特徴を活かしながら、歴史的建造物とその背景にある社会や技術の解明を目的に研究活動を展開し、一昨年度からは公開研究会を開催しております。

今回は、近世中・後期の寺院建築に関する最新の調査成果の発表を通じて、改めて近世社寺建築の調査・研究について議論を深めたいと思います。

**主催** 日本建築学会近畿支部建築史部会

**後援** 日本建築学会建築歴史・意匠委員会日本建築史小委員会

**日時** 2019年12月7日(土) 13:30-17:00

**会場** 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス  
東1号館E121講義室

**交通アクセス** 市営地下鉄松ヶ崎駅より徒歩約8分

**参加費** 無料

**お申込み** 11月29日までに近畿支部ウェブサイトよりお申込みください。

<http://kinki.aij.or.jp/activity/history/index.html>

近畿支部建築史部会

**懇親会** 研究会後、会場近辺にて開催(予算5,000円程度)

参加ご希望の方は、あわせてご連絡ください。

**お問い合わせ** 鈴木智大 (奈良文化財研究所)

e-mail [tomohiro@nabunken.go.jp](mailto:tomohiro@nabunken.go.jp)

